

米の基本指針(案)に関する主なデータ等

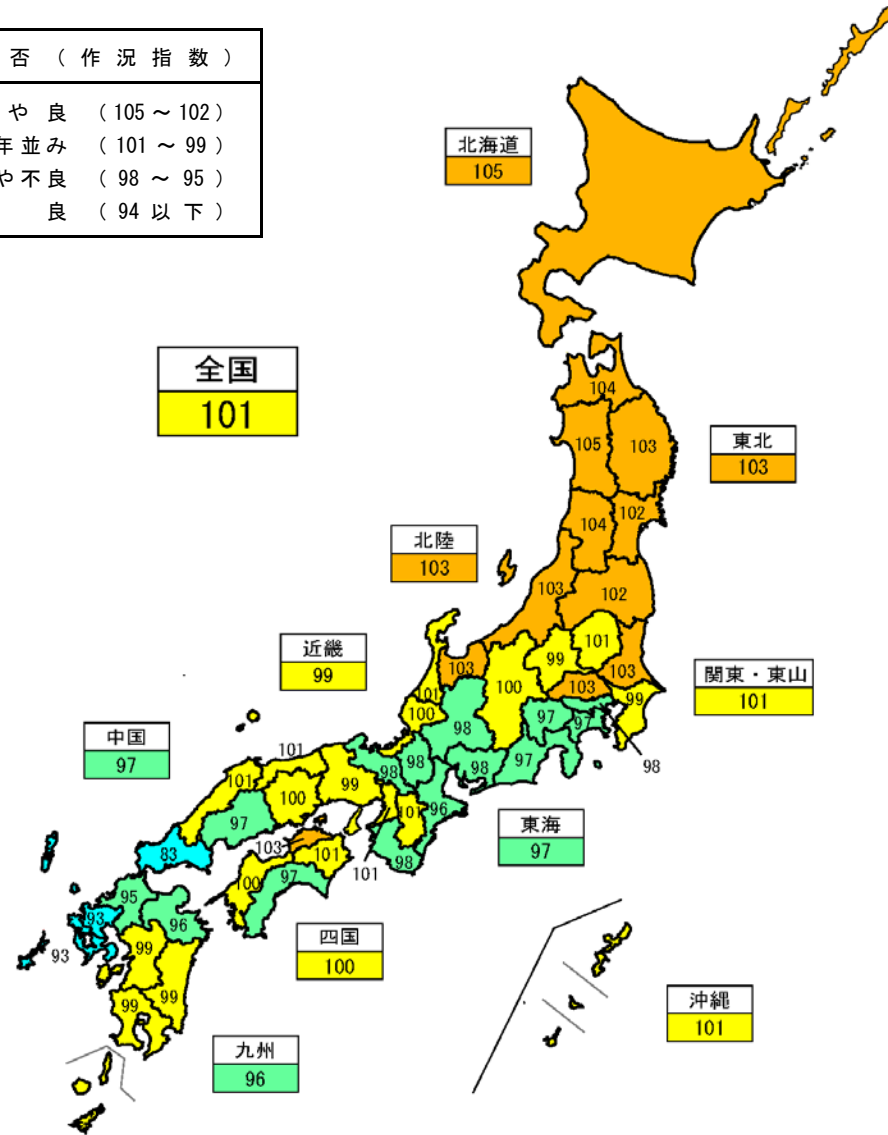
令和2年10月
農林水産省政策統括官

目次

○ 全国農業地域・都道府県別作況指数（令和2年9月30日公表）	1
○ 令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況	2
○ 令和2年産の水田における作付状況（令和2年9月18日現在・速報値）	3
○ 令和2年産の水田における都道府県別の作付状況（令和2年9月18日現在・速報値）	4
○ 米の販売動向の調査結果について	6
○ 米の販売動向調査を踏まえた今年3～8月の販売数量の分析（推計）	7
○ 米政策改革後の主食用米の作付状況	8
○ 主食用米の事前契約・複数年契約の状況	10
○ 事前契約比率の推移	11
○ 相対取引価格の推移（平成21年産～令和2年産）	12
○ 令和2年産米の相対取引価格（令和2年9月までの年産平均価格）	13

全国農業地域・都道府県別作況指数(令和2年9月30日公表)【農家等が使用しているふるい目幅ベース】

作柄の良否（作況指数）	
■	やや良（105～102）
■	平年並み（101～99）
■	やや不良（98～95）
■	不 良（94以下）



注：1 作況指数は、都道府県ごとに、過去5ヵ年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

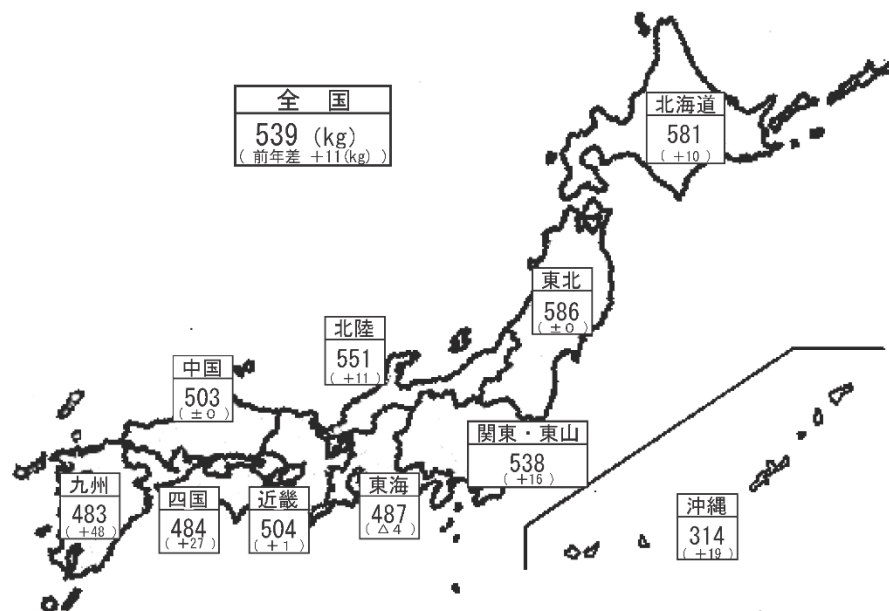
令和2年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

- 令和2年産の主食用米の作付見込面積は、前年産（137.9万ha）から1.3万ha減少の136.6万haとなった。
- 全国の10a当たり予想収量は539kg（前年産528kg）で、作況指数は「101」（前年産「99」）、主食用米の予想収穫量は735万トン（前年産726万トン）となった。

【令和2年産水稻の作付面積及び9/15現在の10a当たり予想収量】

全 国 農 業 地 域	作付面積(青刈り面積を含む)			10a当たり予想収量		参 考	
	実数	前年産との比較		実数 ①	前年産との比較 対差	主食用作付 見込面積 ②	予想収穫量 (主食用) ③=①×②
		対差	対比				
	ha	ha	%	kg	kg	ha	t
全 国	1,575,000	△9,000	99	539	11	1,366,000	7,346,000
北 海 道	104,700	△900	99	581	10	95,300	553,700
東 北	411,600	△900	100	586	0	342,100	2,001,000
北 陸	212,300	△500	100	551	11	185,900	1,023,000
関東・東山	296,100	△1,500	99	538	16	255,800	1,376,000
東 海	99,600	△700	99	487	△4	89,800	438,200
近 畿	104,100	△1,100	99	504	1	97,600	491,900
中 国	106,900	△1,100	99	503	0	98,200	494,500
四 国	49,900	△900	98	484	27	46,900	226,400
九 州	189,700	△1,400	99	483	48	153,200	739,200
沖 縄	653	△24	96	314	19	630	1,980

【全国農業地域別10a当たり予想収量(9/15現在)】



注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
 2 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
 3 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出は、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

令和2年産の水田における作付状況(令和2年9月18日現在・速報値)

- ・ 全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績（137.9万ha）から1.3万ha減少し、136.6万haとなった。
- ・ また、戦略作物等については、新市場開拓用米、米粉用米及び備蓄米の作付面積が増加する一方、加工用米及び飼料用米が減少し、戦略作物等の合計の作付面積については、増加となった。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

(万ha)

	主食用米	備蓄米	戦略作物等							
			加工用米	新規需要米			麦	大豆	その他	
				飼料用米	WCS用稲 〔稲発酵粗 飼料用稲〕	米粉用米				新市場 開拓用米 (輸出用米等)
H27年産	140.6	4.5	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0
H28年産	138.1	4.0	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2
H29年産	137.0	3.5	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2
H30年産	138.6	2.2	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2
R元年産	137.9	3.3	4.7	7.3	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2
R2年産	136.6	3.7	4.5	7.1	4.3	0.6	0.6	9.8	8.5	10.2

令和2年産の水田における都道府県別の作付状況(令和2年9月18日現在・速報値)

都道府県	主食用米			備蓄米	戦略作物												
	①	【参考】			加工用米	新規需要米							麦	大豆	飼料作物	そば	なたね
		前年産(元年産) ②	増減 ①-②			飼料用米 ③	前年産(元年産) ④	増減 ③-④	WCS (稲発酵粗飼料用稲)	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	その他					
全国計	136.6万	137.9万	▲1.3万	36,503	45,173	70,841	72,509	▲1,668	42,793	6,369	6,109	93	98,118	85,121	72,698	28,922	852
北海道	95,300	97,000	▲1,700	389	5,858	1,865	1,974	▲110	574	51	635	-	33,665	18,464	25,638	9,391	639
青森	38,300	39,200	▲900	5,865	821	4,403	4,765	▲362	665	5	255	-	597	4,316	4,783	1,243	14
岩手	48,200	48,300	▲100	687	1,104	3,582	3,724	▲142	1,758	71	244	1	3,347	3,533	7,732	618	15
宮城	64,500	64,800	▲300	2,319	691	4,912	4,871	41	2,071	145	636	1	1,653	9,199	5,261	440	1
秋田	75,300	74,900	+400	3,689	7,852	1,574	1,601	▲28	1,113	454	289	2	173	7,958	2,121	3,079	14
山形	56,500	56,900	▲400	3,877	3,876	3,193	3,444	▲251	932	151	250	3	69	4,485	2,695	4,494	6
福島	59,200	60,400	▲1,200	5,568	424	4,933	4,623	310	953	5	41	2	300	678	1,662	1,775	56
茨城	65,500	66,400	▲900	258	1,351	7,876	7,707	169	534	37	621	-	4,317	430	492	350	4
栃木	54,900	54,900	+0	1,399	1,912	8,340	8,414	▲74	1,612	811	106	1	6,900	297	2,867	1,095	2
群馬	13,600	13,600	+0	246	1,309	959	1,003	▲44	514	325	14	0	1,960	89	178	28	1
埼玉	30,600	30,900	▲300	137	124	1,239	1,281	▲42	118	923	32	-	1,701	349	126	56	6
千葉	52,500	53,700	▲1,200	1,391	1,438	3,821	3,914	▲93	933	72	12	-	452	292	338	6	0
東京	124	129	▲5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,990	3,040	▲50	-	-	10	10	▲1	-	-	-	-	4	6	6	0	-
新潟	106,700	106,800	▲100	4,731	5,056	1,876	2,213	▲337	370	1,695	1,134	0	171	3,754	303	799	2
富山	33,200	33,300	▲100	2,487	1,007	1,297	1,301	▲4	449	120	263	-	2,915	3,513	274	236	17
石川	22,600	22,700	▲100	1,288	404	548	579	▲31	92	125	297	-	904	847	34	159	0
福井	23,300	23,600	▲300	812	443	1,073	1,163	▲91	107	169	279	-	4,679	106	44	539	-
山梨	4,800	4,810	▲10	-	68	19	16	3	14	8	-	-	52	97	27	119	0
長野	30,700	30,900	▲200	224	663	228	235	▲7	204	22	114	-	2,343	552	524	2,309	0
岐阜	21,400	21,400	+0	69	962	2,271	2,336	▲65	205	31	73	-	3,334	360	604	253	-
静岡	15,400	15,600	▲200	4	138	1,033	1,136	▲104	240	1	1	-	230	38	49	28	-
愛知	26,400	26,600	▲200	326	601	1,298	1,272	26	169	87	26	0	5,243	119	129	4	8
三重	26,700	26,900	▲200	-	181	1,571	1,613	▲42	251	96	88	-	6,531	306	85	12	12

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の申請面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

令和2年産の水田における都道府県別の作付状況(令和2年9月18日現在・速報値)

都道府県	主食用米			備蓄米	戦略作物												
	①	【参考】			加工用米	新規需要米							麦	大豆	飼料作物	そば	なたね
		前年産(元年産)②	増減①-②			飼料用米③	前年産(元年産)④	増減③-④	WCS 稲発酵 粗飼料用稲	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	その他					
滋賀	29,700	30,200	▲ 500	296	783	1,096	958	137	251	28	195	0	7,457	419	156	96	18
京都	13,800	13,800	+ 0	-	492	95	99	▲ 4	117	7	21	-	235	231	58	109	-
大阪	4,700	4,850	▲ 150	-	0	7	6	0	-	5	-	-	3	6	1	0	-
兵庫	34,800	35,300	▲ 500	-	749	299	305	▲ 6	798	43	82	7	1,837	1,478	755	138	10
奈良	8,430	8,450	▲ 20	-	21	27	30	▲ 3	36	29	0	-	61	20	5	1	0
和歌山	6,250	6,360	▲ 110	-	-	2	2	▲ 0	2	1	-	-	3	14	4	2	-
鳥取	12,800	12,600	+ 200	79	17	517	685	▲ 168	323	1	5	0	31	570	781	304	1
島根	16,800	16,900	▲ 100	25	318	682	794	▲ 111	571	9	2	1	277	574	438	303	4
岡山	28,900	29,300	▲ 400	103	375	1,073	1,076	▲ 3	335	88	109	2	1,197	1,071	869	125	0
広島	22,000	22,200	▲ 200	4	364	293	332	▲ 38	549	124	60	0	280	260	935	259	-
山口	17,800	18,400	▲ 600	-	912	900	893	7	345	22	122	1	711	747	894	45	-
徳島	10,700	11,000	▲ 300	114	18	558	476	82	209	12	46	-	52	6	107	3	-
香川	11,600	12,000	▲ 400	-	39	127	121	6	131	7	6	-	1,077	48	103	12	2
愛媛	13,300	13,500	▲ 200	-	76	230	288	▲ 58	150	2	-	-	517	320	205	3	-
高知	11,200	11,300	▲ 100	2	68	859	880	▲ 21	239	15	-	-	5	59	117	1	-
福岡	34,400	34,500	▲ 100	23	212	1,886	1,969	▲ 83	1,517	281	9	-	1,180	7,898	429	50	1
佐賀	23,400	23,700	▲ 300	44	390	603	558	45	1,523	23	6	0	180	7,619	343	12	2
長崎	11,000	11,300	▲ 300	2	9	111	128	▲ 17	1,244	6	2	-	93	317	1,867	35	2
熊本	32,300	32,300	+ 0	22	748	1,135	1,175	▲ 41	7,852	222	17	40	737	2,011	2,181	193	9
大分	20,000	20,400	▲ 400	18	156	1,355	1,362	▲ 7	2,526	12	-	-	576	1,217	998	84	3
宮崎	14,300	14,600	▲ 300	3	1,642	412	431	▲ 19	6,656	17	16	29	13	204	3,305	37	0
鹿児島	17,800	18,300	▲ 500	-	1,480	653	742	▲ 89	3,540	10	1	2	57	247	2,157	75	2
沖縄	630	665	▲ 35	-	19	-	-	0	3	1	-	-	-	-	20	-	-

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。

※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の申請面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。

※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

米の販売動向の調査結果について

- 農林水産省が毎月実施している「米穀販売事業者における精米販売動向調査」とは別に、新型コロナウイルスの影響など、毎年の人口減少等によるトレンド要因以外の影響を把握するために、玄米の販売動向も含めるなど調査内容を広げて調査を実施。

【調査対象】年間仕入量 5 万トン以上の販売事業者（29社。卸売業者経由の販売数量に占めるシェアは約50%）

【調査内容】令和 2 年 3 月～ 8 月の 6 ヶ月間における販売先別の販売数量、販売価格

【調査結果】

- ・ 販売数量は、全体で前年同期比 5%減。販売先別に見ると、特に中食向けが 22%減 と大きく、外食向けは16%減。一方、巣ごもり需要で小売向け（家庭用）は 7%増。
- ・ 販売価格は、前年同期比とほぼ同水準。

【販売数量（対前年増減率）】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	3～8月期
全体	+7%	▲10%	▲14%	▲0%	▲6%	▲5%	▲5%
小売向け	+24%	+11%	▲5%	+4%	+1%	+4%	+7%
中食向け	▲16%	▲29%	▲26%	▲17%	▲23%	▲20%	▲22%
外食向け	▲11%	▲28%	▲27%	▲8%	▲8%	▲16%	▲16%
その他	+7%	▲15%	▲12%	+9%	▲2%	+2%	▲2%

【販売価格（対前年増減率）】

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	3～8月期
全体	+1%	+1%	+1%	+1%	+1%	+0%	+1%
小売向け	+1%	+1%	+1%	+2%	+1%	+0%	+1%
中食向け	+1%	+1%	+0%	+0%	+0%	+0%	+0%
外食向け	+0%	+1%	+1%	+1%	+0%	+0%	+0%

米の販売動向調査を踏まえた今年3～8月の販売数量の分析(推計)

- 前ページの調査対象者（年間仕入量5万トン以上の販売事業者：29社）の販売数量は、令和2年3月から8月の6か月間で129万トンで、前年同期より6.3万トン減少。
- このうち、毎年の人口減少等によるトレンド要因を除いた、新型コロナウイルス感染症の影響を含む特別な要因による減少分は、4.5万トンと推計。
- なお、調査対象者29社（販売シェア約50%）の販売先は中食・外食向けの比重が高く、コロナの影響が強めに出ている一方、調査対象外の中小販売事業者は、コロナで販売が好調な小売向けが比較的多いと推察される。

【調査対象者の販売数量（対前年同期比）】

（単位：万トン）

3月	4月	5月	6月	7月	8月	3～8月計
1.5	▲ 2.3	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 1.3	▲ 1.0	▲ 6.3

注：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない。

【特別な要因による減少分の推計】

- ① 29社の令和2年3～8月の販売数量減少分 = ▲6.3万トン
- ② 人口減少等によるトレンドを要因とする減少分
▲10万トン（農林水産省が推計している毎年のトレンド減少分）
× 256万トン（調査対象者の年間推計取扱量） / 726万トン（令和元年産主食用米生産量）
× 1/2（6ヶ月） = ▲1.8万トン
- ③ = ① - ② = ▲4.5万トン

米政策改革後の主食用米の作付状況①

- 米については、平成30年産からの米政策改革が3年目を迎えているところ、都道府県別の主食用米の作付状況を見ると、多くの県においては、需要に応じた生産が行われている状況。
- 一方、主産地を中心に9県においては、令和2年産は平成29年産と比べ作付面積が増え、かつ、在庫量も昨年と比べて増加している状況。
- 令和3年産に向けては、特に上記の主産地等において、主食用米等の需要に応じた生産にしっかり取り組むことが必要。

【都道府県別主食用米作付面積及び民間在庫量】

	主食用米作付面積					民間在庫量			主食用米作付面積					民間在庫量	
	H29年産	H30年産	R元年産	R2年産	R2-H29 作付面積差	R2年8月末	前年同月比		H29年産	H30年産	R元年産	R2年産	R2-H29 作付面積差	R2年8月末	前年同月比
	①			②	②-①				①			②	②-①		
北海道	98,600	98,900	97,000	95,300	▲ 3,300	84.6	+ 9.2	滋賀	30,000	30,100	30,200	29,700	▲ 300	16.3	+ 1.5
青森	38,000	39,600	39,200	38,300	300	61.1	+ 18.0	京都	14,100	13,900	13,800	13,800	▲ 300	3.4	+ 1.0
岩手	47,000	48,800	48,300	48,200	1,200	49.6	+ 20.3	大阪	5,150	5,000	4,850	4,700	▲ 450	0.4	+ 0.1
宮城	63,500	64,500	64,800	64,500	1,000	68.9	+ 14.5	兵庫	35,100	35,500	35,300	34,800	▲ 300	15.3	+ 2.4
秋田	69,500	75,000	74,900	75,300	5,800	57.2	+ 15.9	奈良	8,580	8,530	8,450	8,430	▲ 150	2.5	+ 0.8
山形	56,400	56,400	56,900	56,500	100	69.0	+ 28.6	和歌山	6,560	6,430	6,360	6,250	▲ 310	0.6	+ 0.2
福島	59,900	61,200	60,400	59,200	▲ 700	87.1	+ 31.1	鳥取	12,400	12,700	12,600	12,800	400	6.1	+ 0.4
茨城	66,400	66,800	66,400	65,500	▲ 900	44.9	+ 11.3	島根	17,200	17,200	16,900	16,800	▲ 400	4.5	▲ 2.2
栃木	53,600	54,700	54,900	54,900	1,300	52.5	+ 5.6	岡山	29,100	29,400	29,300	28,900	▲ 200	18.3	+ 4.3
群馬	13,900	13,700	13,600	13,600	▲ 300	6.7	▲ 1.2	広島	23,100	22,900	22,200	22,000	▲ 1,100	8.4	+ 0.2
埼玉	30,700	30,800	30,900	30,600	▲ 100	7.7	▲ 0.1	山口	19,300	18,900	18,400	17,800	▲ 1,500	8.6	▲ 1.6
千葉	53,300	53,900	53,700	52,500	▲ 800	49.2	+ 3.3	徳島	11,300	11,200	11,000	10,700	▲ 600	10.8	+ 3.6
東京	141	133	129	124	▲ 17	0.0	+ 0.0	香川	12,800	12,500	12,000	11,600	▲ 1,200	5.7	▲ 0.4
神奈川	3,090	3,080	3,040	2,990	▲ 100	0.5	+ 0.2	愛媛	13,900	13,900	13,500	13,300	▲ 600	3.7	+ 0.1
山梨	4,880	4,820	4,810	4,800	▲ 80	1.4	+ 0.0	高知	11,500	11,400	11,300	11,200	▲ 300	7.4	▲ 2.2
長野	31,300	31,300	30,900	30,700	▲ 600	20.8	+ 4.2	福岡	35,100	34,900	34,500	34,400	▲ 700	9.6	▲ 3.9
静岡	15,600	15,700	15,600	15,400	▲ 200	5.3	+ 1.5	佐賀	24,400	24,000	23,700	23,400	▲ 1,000	9.7	▲ 0.1
新潟	100,300	104,700	106,800	106,700	6,400	53.7	+ 18.6	長崎	11,600	11,400	11,300	11,000	▲ 600	2.3	▲ 0.3
富山	33,300	33,300	33,300	33,200	▲ 100	19.9	+ 5.3	熊本	32,200	32,300	32,300	32,300	100	11.4	▲ 6.7
石川	23,200	23,200	22,700	22,600	▲ 600	11.6	▲ 1.9	大分	20,900	20,600	20,400	20,000	▲ 900	3.3	▲ 2.5
福井	23,300	23,600	23,600	23,300	0	18.1	+ 3.3	宮崎	15,000	14,700	14,600	14,300	▲ 700	6.7	▲ 0.8
岐阜	21,500	21,500	21,400	21,400	▲ 100	12.4	+ 4.2	鹿児島	19,600	18,300	18,300	17,800	▲ 1,800	8.5	▲ 1.7
愛知	26,600	26,700	26,600	26,400	▲ 200	10.8	+ 2.1	沖縄	727	716	665	630	▲ 97	0.4	▲ 0.2
三重	26,800	27,100	26,900	26,700	▲ 100	14.4	▲ 1.0	計	1,370,000	1,386,000	1,379,000	1,366,000	▲ 4,000	1,000.0	+ 210.0

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」、「作物統計」、「令和2年産の水田における作付状況（令和2年9月18日現在）」

注：1 民間在庫量は、水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の在庫量（玄米換算）の値である。

2 民間在庫量の報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

米政策改革後の主食用米の作付状況②

- 地域協議会ごとに主食用米の作付状況について、平成29年産と令和2年産を比較すると、974協議会が減少させている一方で、480協議会が増加させているところ。
- 今後、地域協議会においては、当該地域の米の売れ行き・在庫状況等を踏まえ、各地域の特色を生かして、需要に応じた生産にしっかり取り組むことが必要。

【地域農業再生協議会別 主食用米作付面積】

単位:ha

都道府県	地域農業再生協議会数	H29年産の主食用米の作付面積と比較して				作付面積の増加協議会数 - 減少協議会数 ①-②	作付面積増加協議会 比率 ①/①+②	R2-H29 作付 面積差
		増加した協議会数①	増減のない協議会数	減少した協議会数②	水稻の作付が無い協議会数			
		北海道	117	35	4			
青森	40	19		21		▲ 2	47.5%	300
岩手	30	14		16		▲ 2	46.7%	1,200
宮城	35	24		10	1	14	70.6%	1,000
秋田	25	24		1		23	96.0%	5,800
山形	35	18		17		1	51.4%	100
福島	48	18		30		▲ 12	37.5%	▲ 700
茨城	44	13		31		▲ 18	29.5%	▲ 900
栃木	25	16		9		7	64.0%	1,300
群馬	32	8	2	22		▲ 14	26.7%	▲ 300
埼玉	60	24		32	4	▲ 8	42.9%	▲ 100
千葉	52	17		35		▲ 18	32.7%	▲ 800
東京	1			1		▲ 1	0.0%	▲ 17
神奈川	27		5	22		▲ 22	0.0%	▲ 100
山梨	25	5	4	15	1	▲ 10	25.0%	▲ 80
長野	59	16		42	1	▲ 26	27.6%	▲ 600
静岡	34	5	4	24	1	▲ 19	17.2%	▲ 200
新潟	34	29		5		24	85.3%	6,400
富山	12	8		4		4	66.7%	▲ 100
石川	17	5		12		▲ 7	29.4%	▲ 600
福井	17	4		13		▲ 9	23.5%	0
岐阜	38	15		23		▲ 8	39.5%	▲ 100
愛知	38	15	1	22		▲ 7	40.5%	▲ 200
三重	30	19	3	8		11	70.4%	▲ 100

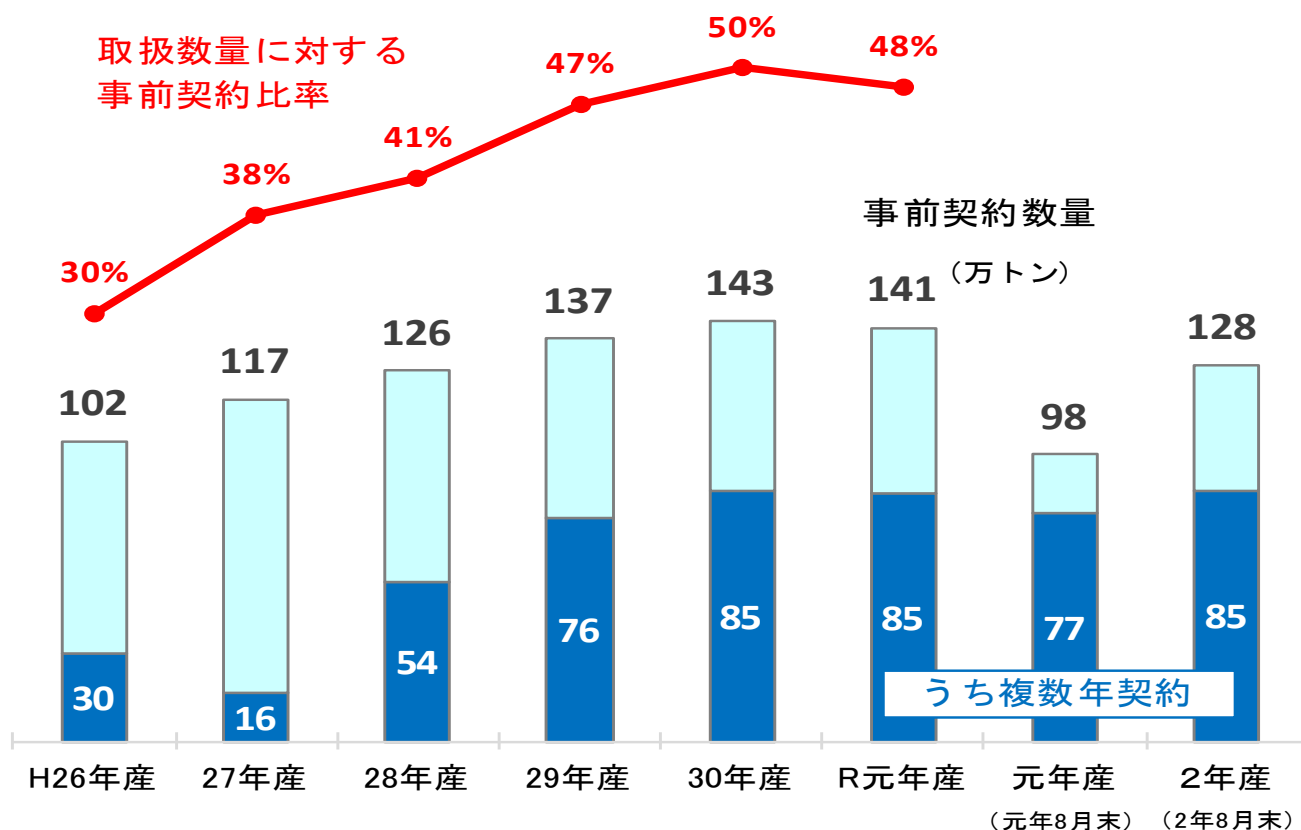
単位:ha

都道府県	地域農業再生協議会数	H29年産の主食用米の作付面積と比較して				作付面積の増加協議会数 - 減少協議会数 ①-②	作付面積増加協議会 比率 ①/①+②	R2-H29 作付 面積差
		増加した協議会数①	増減のない協議会数	減少した協議会数②	水稻の作付が無い協議会数			
		滋賀	19	6				
京都	27	6		21		▲ 15	22.2%	▲ 300
大阪	43	2		41		▲ 39	4.7%	▲ 450
兵庫	41	15	1	25		▲ 10	37.5%	▲ 300
奈良	37	2		35		▲ 33	5.4%	▲ 150
和歌山	30	1	3	26		▲ 25	3.7%	▲ 310
鳥取	19	10		9		1	52.6%	400
島根	18	4		14		▲ 10	22.2%	▲ 400
岡山	27	14		13		1	51.9%	▲ 200
広島	23	2		21		▲ 19	8.7%	▲ 1,100
山口	11			11		▲ 11	0.0%	▲ 1,500
徳島	25	3		22		▲ 19	12.0%	▲ 600
香川	16			15	1	▲ 15	0.0%	▲ 1,200
愛媛	20	6		14		▲ 8	30.0%	▲ 600
高知	26	3	1	22		▲ 19	12.0%	▲ 300
福岡	65	20	1	44		▲ 24	31.3%	▲ 700
佐賀	25	5		20		▲ 15	20.0%	▲ 1,000
長崎	21			21		▲ 21	0.0%	▲ 600
熊本	44	20		24		▲ 4	45.5%	100
大分	17			17		▲ 17	0.0%	▲ 900
宮崎	18	3		15		▲ 12	16.7%	▲ 700
鹿児島	34	3		31		▲ 28	8.8%	▲ 1,800
沖縄	15	4		10	1	▲ 6	28.6%	▲ 97
計	1,496	480	29	974	13	▲ 494	33.0%	▲ 4,000

主食用米の事前契約・複数年契約の状況

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約(複数年契約)の取組は、年々増加傾向。

【近年の主食用米の事前契約数量の推移】



資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」(報告対象:年間取扱量5,000トン以上の集出荷事業者)
 注: 1 「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。
 2 「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。
 3 30年産までは確定値、元年産・2年産は2年8月末現在の速報値。

事前契約比率の推移

○ 集出荷事業者と卸売業者・実需者との間で収穫前に行う主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は、平成26年以降は増加傾向で推移。令和元年産では、事前契約数量が141万トン（うち複数年契約数量85万トン）となり、集荷数量296万トンに対する事前契約比率は約48%。ただし、都道府県別で見るとばらつきがある。

【都道府県別主食用米事前契約比率】

単位：%

産地	平成29年産		令和元年産		R元年産とH29年産の事前契約比率の差 ③-①
	集荷数量に対する事前契約比率 ①	うち複数年契約比率 ②	集荷数量に対する事前契約比率 ③	うち複数年契約比率 ④	
北海道	49.1%	38.2%	60.3%	53.0%	11.3%
青森	37.2%	25.4%	36.0%	12.4%	▲ 1.1%
岩手	73.1%	66.5%	64.6%	64.6%	▲ 8.5%
宮城	76.2%	66.6%	68.6%	60.9%	▲ 7.6%
秋田	37.2%	25.8%	68.8%	36.8%	31.6%
山形	34.6%	9.5%	37.1%	14.3%	2.5%
福島	30.4%	26.5%	25.4%	24.8%	▲ 5.0%
茨城	33.8%	3.5%	22.9%	1.4%	▲ 10.9%
栃木	52.8%	52.8%	58.9%	55.1%	6.1%
群馬	0.4%	-	1.1%	-	0.7%
埼玉	38.7%	-	43.9%	5.1%	5.2%
千葉	36.9%	13.6%	15.6%	15.6%	▲ 21.3%
東京	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-
長野	39.8%	37.4%	50.2%	46.5%	10.4%
静岡	37.9%	-	27.0%	-	▲ 10.9%
新潟	64.3%	41.3%	58.7%	36.8%	▲ 5.6%
富山	50.1%	9.3%	43.7%	9.0%	▲ 6.3%
石川	92.6%	5.8%	80.1%	5.8%	▲ 12.5%
福井	10.1%	10.1%	13.0%	13.0%	2.8%
岐阜	51.9%	9.7%	62.0%	11.4%	10.1%
愛知	42.2%	-	42.0%	5.5%	▲ 0.2%
三重	70.7%	-	76.5%	-	5.8%

単位：%

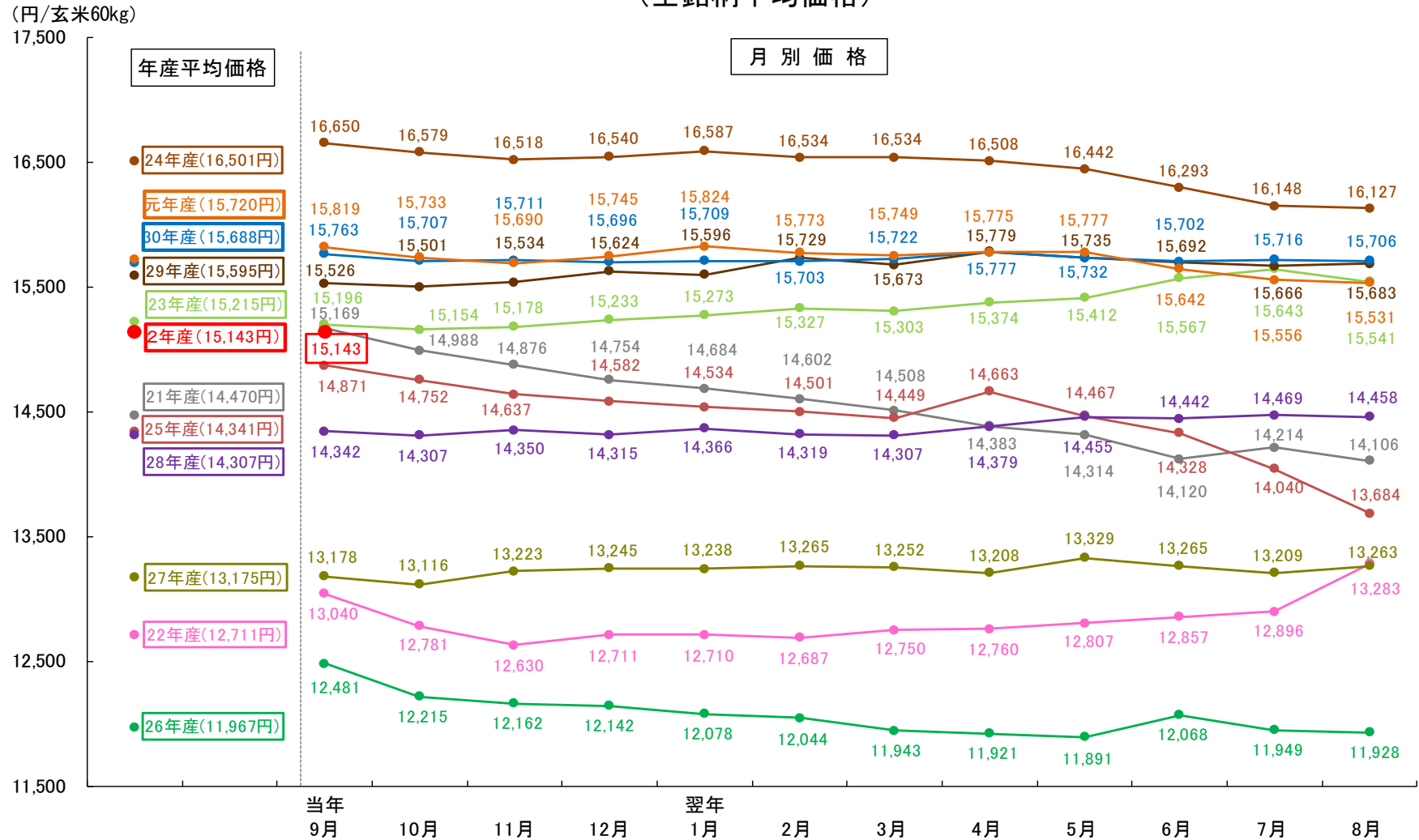
産地	平成29年産		令和元年産		R元年産とH29年産の事前契約比率の差 ③-①
	集荷数量に対する事前契約比率 ①	うち複数年契約比率 ②	集荷数量に対する事前契約比率 ③	うち複数年契約比率 ④	
滋賀	73.8%	58.7%	68.5%	31.2%	▲ 5.2%
京都	63.5%	-	79.7%	-	16.2%
大阪	-	-	-	-	-
兵庫	24.4%	-	31.4%	-	6.9%
奈良	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-
鳥取	25.6%	-	18.6%	-	▲ 7.0%
島根	89.7%	8.5%	97.8%	8.9%	8.1%
岡山	-	-	-	-	-
広島	72.3%	5.8%	60.3%	-	▲ 12.1%
山口	74.4%	2.1%	68.4%	2.0%	▲ 6.0%
徳島	17.0%	-	39.6%	-	22.6%
香川	59.5%	-	80.1%	28.9%	20.6%
愛媛	7.6%	-	43.9%	-	36.3%
高知	30.4%	-	21.4%	-	▲ 9.1%
福岡	61.0%	1.1%	60.7%	1.9%	▲ 0.3%
佐賀	61.7%	-	-	-	▲ 61.7%
長崎	34.2%	-	-	-	▲ 34.2%
熊本	42.1%	-	-	-	▲ 42.1%
大分	43.7%	-	36.0%	-	▲ 7.7%
宮崎	53.1%	-	-	-	▲ 53.1%
鹿児島	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-
全国	47.0%	26.2%	48.4%	29.1%	1.4%

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。
3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

産地と卸間の相対取引価格の推移

相対取引価格の推移（税込） （全銘柄平均価格）



資料：農林水産省調べ

注1：運賃、包装代、消費税相当額(平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%)を含む1等米の価格である。

注2：グラフの左側は各年産の通年平均価格（当該年産の出回りから翌年10月（元年産は令和2年8月、2年産は令和2年9月）まで）、右側は月ごとの価格の推移。

令和2年産米の相対取引価格（令和2年9月の年産平均価格）

（単位：円／玄米60kg（税込））

産地品種銘柄		令和2年産 〔2年9月〕	令和元年産 〔出回り～ 2年8月〕	価格差 ①－②
		①	②	①－②
北海道	ななつぼし	14,971	15,872	▲ 901
北海道	ゆめぴりか	17,246	16,801	+ 445
北海道	きらら397	14,674	15,437	▲ 763
青森	まっくら	13,691	14,778	▲ 1,087
青森	つがるロマン	14,195	15,072	▲ 877
岩手	ひとめぼれ	15,100	15,317	▲ 217
岩手	あきたこまち	-	15,183	-
岩手	銀河のしずく	15,733	16,223	▲ 490
宮城	ひとめぼれ	15,007	15,506	▲ 499
宮城	つや姫	15,171	15,860	▲ 689
宮城	ササニシキ	15,075	15,776	▲ 701
秋田	あきたこまち	15,132	15,810	▲ 678
秋田	めんこいな	-	14,602	-
秋田	ひとめぼれ	-	15,138	-
山形	はえぬき	14,336	15,368	▲ 1,032
山形	つや姫	18,504	18,589	▲ 85
山形	ひとめぼれ	16,060	16,285	▲ 225
福島	コシヒカリ（中通り）	-	15,360	-
福島	コシヒカリ（会津）	15,142	15,570	▲ 428
福島	コシヒカリ（浜通り）	-	14,985	-
福島	ひとめぼれ	-	14,924	-
福島	天のつぶ	-	14,461	-
茨城	コシヒカリ	14,255	15,547	▲ 1,292
茨城	あきたこまち	13,682	15,471	▲ 1,789
茨城	あさひの夢	-	13,588	-
栃木	コシヒカリ	14,647	15,601	▲ 954
栃木	あさひの夢	-	14,830	-
栃木	とちぎの星	-	14,983	-
群馬	あさひの夢	-	14,936	-
群馬	ゆめまつり	-	14,875	-
埼玉	彩のかがやき	-	14,904	-
埼玉	彩のきずな	-	14,918	-
埼玉	コシヒカリ	15,070	15,162	▲ 92
千葉	コシヒカリ	14,512	15,716	▲ 1,204
千葉	ふさごがね	13,550	14,751	▲ 1,201
千葉	ふさおとめ	13,786	14,877	▲ 1,091
山梨	コシヒカリ	-	18,325	-
長野	コシヒカリ	15,678	15,996	▲ 318
長野	あきたこまち	14,975	15,211	▲ 236
静岡	コシヒカリ	15,430	16,207	▲ 777

産地品種銘柄		令和2年産 〔2年9月〕	令和元年産 〔出回り～ 2年8月〕	価格差 ①－②
		①	②	①－②
静岡	きぬむすめ	-	15,229	-
静岡	あいちのかおり	-	15,325	-
新潟	コシヒカリ（一般）	16,871	17,359	▲ 488
新潟	コシヒカリ（魚沼）	20,595	20,962	▲ 367
新潟	コシヒカリ（佐渡）	17,264	17,999	▲ 735
新潟	コシヒカリ（岩船）	17,292	17,979	▲ 687
新潟	こしいぶき	14,513	15,147	▲ 634
富山	コシヒカリ	15,956	15,998	▲ 42
富山	てんたかく	14,592	14,870	▲ 278
石川	コシヒカリ	15,619	15,892	▲ 273
石川	ゆめみづほ	14,188	14,700	▲ 512
福井	コシヒカリ	15,615	16,365	▲ 750
福井	ハゲエチゼン	14,242	15,079	▲ 837
福井	あきさかり	14,607	15,198	▲ 591
岐阜	ハツシモ	-	15,280	-
岐阜	コシヒカリ	15,441	16,169	▲ 728
岐阜	あさひの夢	-	14,692	-
愛知	あいちのかおり	15,120	14,789	+ 331
愛知	コシヒカリ	15,660	15,542	+ 118
愛知	大地の風	-	14,977	-
三重	コシヒカリ（一般）	15,043	15,553	▲ 510
三重	コシヒカリ（伊賀）	15,239	15,947	▲ 708
三重	キヌヒカリ	14,051	14,947	▲ 896
滋賀	コシヒカリ	15,306	15,831	▲ 525
滋賀	キヌヒカリ	14,341	14,952	▲ 611
滋賀	みずかがみ	15,265	15,785	▲ 520
京都	コシヒカリ	16,074	16,203	▲ 129
京都	キヌヒカリ	15,082	15,137	▲ 55
京都	ヒノヒカリ	-	-	-
兵庫	コシヒカリ	15,753	16,161	▲ 408
兵庫	ヒノヒカリ	-	14,879	-
兵庫	キヌヒカリ	-	14,873	-
奈良	ヒノヒカリ	-	15,743	-
鳥取	きぬむすめ	14,308	14,800	▲ 492
鳥取	コシヒカリ	14,729	15,493	▲ 764
鳥取	ひとめぼれ	14,329	14,701	▲ 372
島根	コシヒカリ	14,863	15,565	▲ 702
島根	きぬむすめ	14,318	14,565	▲ 247
島根	つや姫	15,124	15,257	▲ 133
岡山	アケボノ	-	14,878	-

産地品種銘柄		令和2年産 〔2年9月〕	令和元年産 〔出回り～ 2年8月〕	価格差 ①－②
		①	②	①－②
岡山	きぬむすめ	14,872	-	-
岡山	あきたこまち	14,750	15,403	▲ 653
広島	コシヒカリ	15,063	15,494	▲ 431
広島	あきさかり	13,991	14,652	▲ 661
広島	あきろまん	-	14,635	-
山口	コシヒカリ	15,173	15,525	▲ 352
山口	ひとめぼれ	14,462	14,630	▲ 168
山口	ヒノヒカリ	-	14,618	-
徳島	コシヒカリ	-	15,757	-
徳島	あきさかり	14,580	-	-
香川	コシヒカリ	15,268	15,279	▲ 11
香川	ヒノヒカリ	-	14,766	-
香川	おいでまい	-	15,380	-
愛媛	コシヒカリ	15,680	15,561	+ 119
愛媛	ヒノヒカリ	-	15,027	-
愛媛	あきたこまち	15,054	14,860	+ 194
高知	コシヒカリ	15,152	14,920	+ 232
高知	ヒノヒカリ	14,142	14,541	▲ 399
福岡	夢つくし	16,584	16,292	+ 292
福岡	ヒノヒカリ	-	15,413	-
福岡	元気つくし	16,482	16,126	+ 356
佐賀	夢しずく	-	14,937	-
佐賀	さがびより	-	15,806	-
佐賀	ヒノヒカリ	-	-	-
長崎	ヒノヒカリ	-	14,978	-
長崎	にごまる	-	15,305	-
長崎	コシヒカリ	15,771	15,918	▲ 147
熊本	ヒノヒカリ	-	15,373	-
熊本	森のくまさん	-	15,399	-
熊本	コシヒカリ	15,729	15,997	▲ 268
大分	ヒノヒカリ	-	15,662	-
大分	ひとめぼれ	-	15,898	-
大分	つや姫	15,035	15,908	▲ 873
宮崎	コシヒカリ	-	15,946	-
宮崎	ヒノヒカリ	-	15,860	-
鹿児島	ヒノヒカリ	-	16,407	-
鹿児島	あきほなみ	-	16,909	-
鹿児島	コシヒカリ	-	16,670	-
全銘柄平均価格		15,143	15,720	▲ 577

注1：農林水産省が調査・公表した出回りからの年産平均価格（令和元年産は令和2年8月、2年産は令和2年9月）までであり、調査対象事業者は、一定規模以上の集荷業者（年間の販売数量5,000トン以上等）。

2：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、令和元年10月以降は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。

3：「－」について、令和2年産は、当該月までの取引数量の累計が100トン未満であり、価格の公表を行っていないもの。令和元年産は、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄又は取引数量の累計が100トン未満であり、公表を行っていないもの。